

令和3年度国際原子力人材育成イニシアティブ成果報告会(令和4年1月18日)
未来社会に向けた先進的原子力教育 コンソーシアム・産学連携G



産学連携グループ会議 その目的とこれまでの活動

産学連携グループ会議とりまとめ
福井大学附属国際原子力工学研究所
所長・教授 宇埜正美

目的とこれまでの活動

目的

コンソーシアム内のインターンシップなどの産学連携プログラムを整理し、日程その他について調整する。その他必要事項についても検討する。

これまでの経緯と活動

- 本事業における産学連携の取り組み
 - ① 原子力業界探求セミナーの開催(近畿大学・日本原子力産業協会)
 - ② 原子力施設インターンシップ研修(福井大学・福井工業大学・関西電力)

- コンソーシアム委員会にむけて参加メンバーの決定
 - ・当初本事業の採択機関の大学のみがメンバー
 - ・このメンバーの事業の協力機関の他、原子力学会教育委員会を通じ、メンバーを募集

これまでの活動

これまでの活動(つづき)

- 令和3年度第1回産学連携G会議(8月18日)
 - ・参加メンバーの確認とさらなる充実について議論(参照メンバー表)
結果、機関としてJAEA・原子力人材育成センターを推薦
 - ・本活動の目的と内容
人材育成ネットワークとの(HP上の)住み分け
人材育成ネットワークと密な情報共有から、学生がどちらを見ても適切な情報を得られる仕組みを
 - ・「日程その他の調整」について
これまで「調整」の経験はない
コンソーシアム内でのカリキュラムが確立すれば整理は可能
 - ・学生への発信する仕組み
人材育成ネットワークは教員協議会へ情報の提供(実績)
都市大の閃源会、近大のエネルギー研究会等学生の組織に提供しては
Twitterで周知しては

今後の活動

- 今後議論を継続するとともに議題も募集
- 上記議題に加えて、「リカレント教育」、「社会人博士課程」、...